

鹿病防第21号
平成24年9月12日

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度病害虫発生予察特殊報第1号について（送付）

このことについて、下記のとおり発表したので送付します。

なお、病害虫防除所ホームページ（www.jppn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。

病害虫発生予察 特殊報第1号

平成24年9月12日
鹿児島県病害虫防除所

1 病害虫名 ミナミヒメハダニ *Brevipalpus phoenicis* (Geijskes)
(ヒメハダニ科)

2 作物名 パッションフルーツ（品種：ルビースター，施設栽培）

3 発生確認および発生状況

(1) 発生確認年月日 平成24年6月25日

(2) 同定確認 平成24年8月13日 門司植物防疫所 次席同定官 三島重治

(3) 発生状況 曾於郡大崎町（ハウス1地点，樹齢2年生）

施設栽培パッションフルーツで寄生が認められた。奄美大島，沖縄本島では既発生であったが，県本土のパッションフルーツでは，これまで確認されていなかった。

4 形態及び生態の特徴

(1) 形態 赤色，雌成虫の体長は0.34mm内外である（写真1）。体のサイズが著しく小さいため，少数個体が葉に寄生していても気づきにくく，個体数が相当に増えて被害が顕著になってから気づくことが多い。

(2) 寄主植物：カンキツ，パッションフルーツ，リュウキュウガキ，バナナ，マカダミア，パパイヤ，チャなど多食。

(3) 被害：多発すると葉は光沢がなくなり，新葉では葉辺が縮れ，成葉では葉縁から黄化・褐変し落葉する（写真2）。被害果実は，まだら状の着色不良となり，果皮がかすり状に褐変する（写真3）。枝では表面のくぼみに沿ってコロニー状に寄生し，多発した場合は枝が枯死する。

(4) 分布：国内では奄美大島，沖縄本島で既知。海外では熱帯・亜熱帯を中心にきわめて広く分布する。

5 防除対策

(1) 既発生地からの苗の導入には十分注意し，植え付け時に防除する。

(2) 登録のあるマシン油乳剤で収穫後から開花期（発蕾期）までに防除する。

(3) 多発した茎葉や株は除去して施設外に持ち出し，適正に処理する。

(4) 発生ほ場や近隣ほ場からの採穂や苗木の移動は避ける。

(5) 発生したハウスで植え替える場合は，栽培終了時に蒸し込み処理を行い，施設外への分散を防ぐ。

6 参考文献等

- (1) 江原昭三 (2007) ヒメハダニ科およびケナガハダニ科の見分け方. 植物防疫 特別増刊号 (No,10) : 34-39
- (2) 江原昭三ら (2009) 原色植物ダニ検索図鑑 223-228 全国農村教育協会
- (3) 江原昭三 (1980) 日本ダニ類図鑑 268 - 269 全国農村教育協会

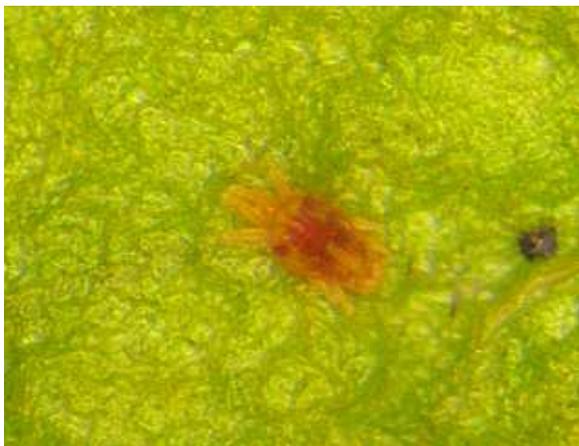


写真1 成虫



写真2 葉の被害



写真3 果実表面の被害